

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 17 日現在

機関番号：37111

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009 年度～2012 年度

課題番号：21592864

研究課題名（和文）住民主体の子育て支援プログラム開発と保健師支援モデルの精緻化

研究課題名（英文） The development of resident-based childcare support program and the elaboration of support model by public health nurses

研究代表者 原田 春美（HRADA HARUMI）

福岡大学・医学部・教授

研究者番号：70335652

研究成果の概要（和文）：応募者らのこれまでの調査や研究等を適用し、発展させ、地域住民が主体的に参加し、支えあう子育て支援プログラムを開発した。開発したプログラムは、継続して運営される子育て支援サポーター育成プログラムと子育て支援の仕組みづくりのプログラムの二つである。これらのプログラムを立案し、実施し、修正すると共に、それらの過程を通して、住民同士の対等な関係形成・維持と持続的な支援の提供を実現するものとなるための要因や方法を検討した。また、住民相互の関係形成を積極的に支援し、支える側と支えられる側双方の住民をエンパワメントする専門職としての保健師の係り方について、プログラム実施過程を通して、修正し、精緻化した。

研究成果の概要（英文）：As a result of applying and progressing the past investigation and study results of the applicants, we have developed a childcare support program in which initiative participation and mutual support of local residents are realized. The program consists of the following two programs which will be continuously operated; the childcare supporter training program and the program which establishes the framework of the childcare support system. In the course of planning, conducting, and modifying these programs, we have also studied causes and methods which contribute in achieving the formation and continuation of equal relationships among residents as well as the provision of sustainable support. In addition, the form of involvement of public health nurses has been modified and elaborated in the process of carrying out the program, so as to serve as a profession which positively supports the formation of mutual relationships among residents and which empowers both sides of residents who support and who are supported.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	700,000	210,000	910,000
2010 年度	700,000	210,000	910,000
2011 年度	500,000	150,000	650,000
2012 年度	600,000	180,000	780,000
年度			
総計	2500,000	750,000	3,250,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・地域看護学

キーワード：子育て支援、住民主体、人間関係形成、支援モデル、保健師

1. 研究開始当初の背景

（1）子育て支援の仕組み形成に関する研究
近年の少子化や核家族化、女性の社会進出や地域社会の関係の希薄化等、子どもを生き

育てる環境は大きく変化し、子育て支援について様々な施策が打ち出されている。そのため、子育てに関する研究も多く、子育て不安の要因に関する研究（長沼ら, 2005）（渡部

ら, 2004)、子育て支援の方法としての家庭訪問の有用性を検証した研究(都筑ら, 2002)、子育てへのソーシャルサポートに関する研究(藤田ら, 2002)等がある。しかし、これらの研究対象は子ども及び家族を含めた個を対象とした研究であり、子育てを地域で支える仕組みづくりというような組織的な支援の方法には至っていない。

一方、人が人を支援することに関する研究は、支援者の行動に影響を及ぼす要因(中村, 1983)、支援の動機(Claryら, 1998)や授受のメカニズム(高木, 1997)、支援のスキル(Goldstein, 1980)等、国内外で様々な視点から行われている。しかし、これらの研究の対象も個人的な範囲に限定され、地域等広範囲にわたる視点での支援の仕組み形成に関する研究には至っていない。本研究の目的に近接する研究としては、Caplan(1974)の地域のsupport systemに関する研究があるが、その後は、この種の研究は見られない。

(2) 本課題に至った経緯

応募者らが行った調査(原田ら, 2008)の結果からは、地域に暮らす若い母親にとって、現行の制度がうまく機能しているとはいいがたい現状があるように思われた。具体的には、母親は子育てに関する多様な不安を抱えていたが、行政サービスの利用は低調で、自分から地域社会の中に支援を求めようとする意識は希薄のように思われた。良い母親であることと自分らしくあることの間で葛藤があり、地域社会の中で孤立した状態で育児を行なわざるを得ない状況や閉塞感を感じている様子が見られた。専門職の支援に関しては、応募者らは、精神障がい者を地域で支援する熟練保健師の実践の分析から、個人及び地域社会の課題を解決するための人間関係形成の方法とその関係形成のプロセスを明らかにし、地域での支援の仕組みを構築する方法のモデル(原田ら, 2009)を提示した。

これらの研究や調査から、応募者らは、地域に必要な子育ての支援の仕組みづくりにおいては、専門職が支援する側とされる側の住民双方へ働きかけることが必要と考えた。特に、子育ては生活の中で繰り返される事項であり、人々の生活課題に取り組んできた保健師による支援が望ましいのではないかと考えた。また、その支援は、従来の妊婦教室や新生児訪問指導時に子育てサークルを紹介する、場を提供する等の、知識の提供が中心で、参加者同士の自然発生的な関係形成を狙うというあり方ではなく、保健師が支援する側と支援される側の両方をエンパワメントすること、そして両者の人間関係形成を積極的に支援することが必要と考えるに至った。

2. 研究の目的

本研究は、子育て不安を抱える家族とその

家族を取り巻く非専門職の住民をエンパワメントし、関係形成を促すための妊娠期からの継続した子育て支援プログラムを開発すること、さらにそれらを通して応募者らが明らかにした支援モデル(原田ら, 2009; 2011)の精緻化を図ることを目的とする。

3. 研究の方法

プログラムは、子育て支援における地域住民相互の関係づくりを目指して、子育てを支援する地域住民とその支援を受ける地域住民のために計画した。プログラム開発の枠組は、教育プログラム開発のための6段階アプローチ(Kern, Thomas, Howard, & Bass, 1998)とした。具体的には、プログラム立案のためのニーズ調査、プログラム計画の立案、プログラムの実施、プログラムの評価というプロセスで行った。

(1) ニーズ調査: 4つの市町の協力を得て、子育て支援する側の住民と子育て支援を受ける住民それぞれに対して、アンケート票の郵送留め置き法によって行った。

(2) プログラムの計画: ニーズ調査の結果等を踏まえて立案した。プログラムは、子育て支援サポーター育成プログラムと子育てと仲間づくりの支援プログラムの二つから構成されており、これら二つのプログラムを継続して実施した。プログラムは、モデル事業として一部の学習者にプログラム全体を実施するという段階的導入の形をとっており、今後の完全導入のための一通りの経験、フィードバック、評価、反応を得る機会を提供するものという位置付けとした。

(3) プログラム実施・評価とプログラム開発: プログラム(子育て支援サポーター育成プログラム8回、子育て支援の仕組みづくりプログラム14回)を実施し、運営方法も含めて分析し、評価(形成的個人評価、総括的個人評価、形成的プログラム評価、総括的プログラム評価)し、検証し、そのプログラムが、住民同士の対等な関係形成・維持と持続的な支援の提供を実現するものとなるための要因や方法を明らかにした。明らかになった要因を活用して、子育て支援サポーター育成と子育て支援の仕組みを形成する方法をプログラムとして提示した。また、住民相互の関係形成を積極的に支援し、支える側と支えられる側双方の住民をエンパワメントする専門職としての保健師の係り方について、プログラム開発の中で精緻化し、提示した。尚、モデル事業であり、段階的導入であるという特徴から、行政機関ではなく、広島市ひと・まちネットワークの共催事業(公民館と企業・団体との連携事業)として実施した。

(4) 倫理的配慮: 本研究は、①対象者の人権擁護のための配慮(プライバシー、身体面・精神面等への配慮)、②対象者に理解を求め、同意を得る方法(説明の内容等)、③

対象者に生じる危険性及び不利益に対する配慮、④研究の教育・学術上の貢献度の予測、⑤予測される社会的な影響、⑥個人情報の保護の徹底などについて、県立広島大学倫理委員会の承認(平成21年11月16日24号)を得て行った。

4. 研究成果

(1) 開発した二つのプログラムを、表1及び表2に示した。

表1-子育て支援サポーター育成プログラム概要

レベル	回	内容と方法 (学習者：支援側の住民)	リソース
プライマリプログラム	1	1. オリエンテーション 2. 今日の計画の確認 3. 専門的知識に関する講義 ①子育て支援に関する最近の動向 ②育児不安の内容とその対処方法 4. 人間関係形成スキルに関する講義 ①支援の基盤としての人間関係形成の必要性 5. グループディスカッション 6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内	保健師 助産師
	2	1. 前回の振り返りと今日の計画の確認 2. 専門的知識に関する講義 ①子どもの成長や発達 ②子どもの病気 ③乳児期におこりやすい事故とその予防の仕方 3. 人間関係形成スキルに関する講義 ①個との関係づくりのスキル 4. グループディスカッション 5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内	医師 保健師 助産師
	3	1. 前回の振り返りと今日の計画の確認 2. 専門的知識に関すること ①妊娠期の母親の健康と生活 ②育児期の母親の健康と生活 ③利用できるサービスと地域の社会資源 3. 人間関係形成スキルに関する講義 ①仲間づくりのスキル 4. グループディスカッション 5. 今日の振り返りとアドバンスドプログラムの案内	保健師 助産師
アドバンスドプログラム	4	1. 前回の振り返りと今日の計画の確認 2. 専門的知識や技術に関すること ①離乳食 ②離乳食の調理実習と試食 3. グループディスカッション 4. 今日の振り返りと次回プログラムの案内	保健師 栄養士
	5	1. 前回の振り返りと今日の計画の	保健師

ム		確認 2. 専門的知識や技術に関すること ①発達の観察の仕方 ②体重等の身体測定の方法 3. グループディスカッション 4. 今日の振り返りと次回プログラムの案内	助産師
	6	1. 前回の振り返りと今日の計画の確認 2. 専門的知識や技術に関すること ①マタニティ・ヨガ(出産前・出産後) 3. グループディスカッション 4. 今日の振り返りと次回プログラムの案内	保健師 助産師 インストラクター
	7	1. 前回の振り返りと今日の計画の確認 2. 専門的知識や技術に関すること ①子どもの遊び ②指導方法のロールプレイ 3. グループディスカッション 4. 今日の振り返りと次回プログラムの案内	保健師 助産師 保育士
	8	1. 前回の振り返りと今日の計画の確認 2. 専門的知識や技術に関すること ①タッチケア 3. グループディスカッション 4. 今日の振り返りとプログラム全体の振り返りと評価 5. 子育て支援サポーター育成プログラム実践編の案内	保健師 助産師 インストラクター

表2-子育てと仲間づくり支援プログラム概要

回	内容と方法		リソース
	被支援側の住民	支援側の住民	
1 妊娠5か月 ― 6か月頃	1. 健康チェック 2. オリエンテーション 3. 今日の計画の確認 4. 専門的知識や技術に関する講義 ①母親になるということ ②妊娠期の母親の健康と生活(1) 5. 交流会 6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内 7. 健康チェック 8. 希望者の個別相談	1. 事前説明 2. 受付(健康チェック) 3. オリエンテーション 4. 今日の計画の確認 5. 専門的知識や技術に関する講義 ①母親になるということ ②妊娠期の母親の健康と生活(1) 6. 交流会 7. 今日の振り返りと次回プログラムの案内 8. 健康チェック 9. 希望者の健康相談 10. 自分自身の今日の振り返り	保健師 助産師 保育士
2	1. 健康チェック 2. 前回の振り返りと今日の計画	1. 事前説明 2. 受付(健康チェック)	保健師 助産師 ヨガ

妊娠 6 か月 ― 7 か月 頃	<p>の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①マタニティ・ヨガ</p> <p>②妊娠期の母親の健康と生活(2)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>6. 健康チェック</p> <p>7. 希望者の個別相談</p>	<p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①マタニティ・ヨガ(出産前)</p> <p>②妊娠期の母親の健康と生活(2)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 健康チェック</p> <p>8. 希望者の健康相談</p> <p>9. 自分自身の今日の振り返り</p>	<p>ンストラクター</p> <p>保育士</p>		<p>相談</p>	<p>9. 自分自身の今日の振り返り</p>	
5 生後 2 か月 頃	<p>1. 健康チェック</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの成長と発達</p> <p>②利用できるサービスや地域の社会資源</p> <p>③この時期の子どもの様子とお世話(1)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>6. 希望者の個別相談</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの成長と発達</p> <p>②利用できるサービスや地域の社会資源</p> <p>③この時期の子どもの様子とお世話(1)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 希望者の個別相談</p> <p>8. 自分自身の今日の振り返り</p>	<p>保健師</p> <p>助産師</p> <p>保育士</p>		<p>1. 健康チェック・計測</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの成長と発達</p> <p>②利用できるサービスや地域の社会資源</p> <p>③この時期の子どもの様子とお世話(1)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>6. 希望者の個別相談</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック・計測)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの成長と発達</p> <p>②利用できるサービスや地域の社会資源</p> <p>③この時期の子どもの様子とお世話(1)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 希望者の個別相談</p> <p>8. 自分自身の今日の振り返り</p>	<p>保健師</p> <p>助産師</p> <p>保育士</p> <p>主事</p>
3 妊娠 7 か月 ― 8 か月 頃	<p>1. 健康チェック</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①妊娠期の母親の健康と生活(4)</p> <p>②出産の準備</p> <p>③産後の健康</p> <p>④母乳のすすめと乳房の手入れ</p> <p>⑤活用できる地域の資源</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>6. 健康チェック</p> <p>7. 希望者の個別相談</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①妊娠期の母親の健康と生活(4)</p> <p>②出産の準備</p> <p>③産後の健康</p> <p>④母乳のすすめと乳房の手入れ</p> <p>⑤活用できる地域の資源</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 健康チェック</p> <p>8. 希望者の健康相談</p> <p>9. 自分自身の今日の振り返り</p>	<p>保健師</p> <p>助産師</p> <p>保育士</p>		<p>1. 健康チェック・計測</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義と演習</p> <p>①産後ヨガ</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(2)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>6. 希望者の個別相談</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック・計測)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義と演習</p> <p>①産後ヨガ</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(2)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 希望者の健康相談</p> <p>8. 自分自身の今日の振り返り</p>	<p>保健師</p> <p>助産師</p> <p>保育士</p> <p>ヨガインストラクター</p>
6 生後 2 か月 頃	<p>1. 健康チェック</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義と演習</p> <p>①上の子どもとの係り方</p> <p>託児では“赤ちゃんと過ごす日”の読み聞かせ</p> <p>②妊娠期の母親の健康と生活(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 健康チェック</p> <p>8. 希望者の個別相談</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義と演習</p> <p>①上の子どもとの係り方</p> <p>②妊娠期の母親の健康と生活(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 健康チェック</p> <p>8. 希望者の健康相談</p>	<p>保健師</p> <p>助産師</p> <p>保育士</p>		<p>1. 健康チェック・計測</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック・計測)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>医師</p> <p>保健師</p> <p>保育士</p>
4 妊娠 8 か月 ― 9 か月 頃	<p>1. 健康チェック</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①上の子どもとの係り方</p> <p>託児では“赤ちゃんと過ごす日”の読み聞かせ</p> <p>②妊娠期の母親の健康と生活(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 健康チェック</p> <p>8. 希望者の個別相談</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①上の子どもとの係り方</p> <p>②妊娠期の母親の健康と生活(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p> <p>7. 健康チェック</p> <p>8. 希望者の健康相談</p>	<p>保健師</p> <p>助産師</p> <p>保育士</p>		<p>1. 健康チェック・計測</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック・計測)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>医師</p> <p>保健師</p> <p>保育士</p>
7 生後 3 か月 頃	<p>1. 健康チェック</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>医師</p> <p>保健師</p> <p>保育士</p>		<p>1. 健康チェック・計測</p> <p>2. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>3. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>4. 交流会</p> <p>5. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>1. 事前説明</p> <p>2. 受付(健康チェック・計測)</p> <p>3. 前回の振り返りと今日の計画の確認</p> <p>4. 専門的知識や技術に関する講義</p> <p>①子どもの病気と上手な病院のかかり方</p> <p>②この時期の子どもの様子とお世話(3)</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. 今日の振り返りと次回プログラムの案内</p>	<p>医師</p> <p>保健師</p> <p>保育士</p>

	ラムの案内 6. 希望者の個別 相談	りと次回プログ ラムの案内 7. 希望者の個別 相談 8. 自分自身の今 日の振り返り			ラムの案内 6. 希望者の個別 相談	りと次回プログ ラムの案内 7. 希望者の個別 相談 8. 自分自身の今 日の振り返り	
8 生後 3か 月頃	1. 健康チェッ ク・計測 2. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 3. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①タッチケア ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(4) 4. 交流会 5. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 6. 健康チェック 7. 希望者の個別 相談	1. 事前説明 2. 受付(健康チェ ック・計測) 3. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 4. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①タッチケア ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(4) 5. 交流会 6. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 7. 健康チェック 8. 希望者の健康 相談 9. 自分自身の今 日の振り返り	保健師 助産師 保育士 タッチ ケア認 定指導 者	11 生後 5か 月頃	1. 健康チェッ ク・計測 2. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 3. 専門的知識や 技術に関する講 義 ①育児期の母親の 健康と生活 ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(7) 5. 交流会 6. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 7. 希望者の個別 相談	1. 事前説明 2. 受付(健康チェ ック・計測) 3. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 4. 専門的知識や 技術に関する講 義 ①育児期の母親の 健康と生活 ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(7) 5. 交流会 6. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 7. 希望者の健康 相談 8. 自分自身の今 日の振り返り	保健師 助産師 保育士
9 生後 4か 月頃	1. 健康チェッ ク・計測 2. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 3. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①離乳食 ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(5) 4. 交流会 5. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 6. 希望者の個別 相談	1. 事前説明 2. 受付(健康チェ ック・計測) 3. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 4. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①離乳食 ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(5) 5. 交流会 6. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 7. 希望者の個別 相談 8. 自分自身の今 日の振り返り	保健師 助産師 保育士 栄養士	12 生後 5か 月頃	1. 健康チェッ ク・計測 2. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 3. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①子どもの遊び ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(8) 4. 交流会 5. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 6. 希望者の個別 相談	1. 事前説明 2. 受付(健康チェ ック・計測) 3. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 4. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①子どもの遊び ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(8) 5. 交流会 6. 今日の振り返 りと次回プログ ラムの案内 7. 希望者の個別 相談 8. 自分自身の今 日の振り返り	保健師 助産師 保育士
10 生後 4か 月頃	1. 健康チェッ ク・計測 2. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 3. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①離乳食の調理実 習と試食 ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(6) 4. 交流会 5. 今日の振り返 りと次回プログ	1. 事前説明 2. 受付(健康チェ ック・計測) 3. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 4. 専門的知識や 技術に関する講 義と演習 ①離乳食の調理実 習と試食 ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(6) 5. 交流会 6. 今日の振り返	保健師 助産師 栄養士 保育士	13 生後 6か 月頃	1. 健康チェッ ク・計測 2. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 3. 専門的知識や 技術に関する講 義 ①読み聞かせ(ブ ックスタート) ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(9) 4. 交流会 5. 今日の振り返 りと次回プログ	1. 事前説明 2. 受付(健康チェ ック・計測) 3. 前回の振り返 りと今日の計画 の確認 4. 専門的知識や 技術に関する講 義 ①読み聞かせ(ブ ックスタート) ②この時期の子 どもの様子と子 どもの世話(9) 5. 交流会 6. 今日の振り返	保健師 助産師 保育士

	ラムの案内 6. 希望者の個別 相談	りと次回プログラムの案内 7. 希望者の個別 相談 8. 自分自身の今日 の振り返り	
14 生後 6 か 月 頃	1. 健康チェック・計測 2. 前回の振り返りと今日の計画の確認 3. お茶会 4. 全体の振り返り 5. 希望者の個別 相談	1. 事前説明 2. 受付(健康チェック・計測) 3. 前回の振り返りと今日の計画の確認 4. お茶会 5. 全体の振り返り 6. 希望者の個別 相談 7. 自分自身の全 体の振り返り	医師 保健師 助産師 保育士

(2) 対等な関係形成と持続的な支援提供実現の要因や方法について検討した結果、①支援側の住民は子育て支援の経験を有する者が望ましい、②支援側の住民の次のプログラム参加への動機づけや事前説明を十分に行う必要がある、③支援される側住民のプログラム参加者は児の母親と父親(又はパートナー)の両方であることが特に関係形成・維持において有効と考えられる、④エンパワメントのために専門職支援者の役割を見直すことが必要である等、今後のプログラム開発への示唆を得た。

〔文献〕

- 1) Caplan, G. (1974). Support Systems and Community. Behavioral Publications.
- 2) Clary, E. G., et al (1998). Understanding and assessing the Motivations of volunteers: A functional approach. Journal of personality and social Psychology, 74, 1516-1530.
- 3) 藤田大輔, 他 (2002). 乳幼児を持つ母親の精神的健康度に及ぼすソーシャルサポートの影響. 日本公衆衛生学会誌 49 (4) 305-313
- 4) Goldstein, A. P., et al (1980). Skill Training Approach to Teaching Prosocial Skills. New Jersey: Prentice Hall
- 5) 原田春美, 他 (2008). 子育て不安に関する調査研究報告書. 三原市
- 6) 原田春美, 小西美智子, 他 (2009). 支援場面における保健師の人間関係形成の方法とそのプロセス - 家庭訪問での精神障害者支援に焦点をあてて -. 実験社会心理学研究 49
- 7) 原田春美, 小西美智子, 他 (2011). 支援枠組みにおいて専門職が用いる人間関係形成方法とそのプロセス - 保健師による地域の仕組み作り に焦点をあてて. 実験社会心理学研究 50
- 8) 原田春美, 小西美智子, 他 (2011). 子育て不安の実態と保健師の支援の課題. 人間と科学 11 (1) 53-62.
- 9) Kern, D. E., et al (1998). Curriculum

Development for Medical Education: A Six Step Approach. Baltimore: The Johns Hopkins University Press. (大西弘高(訳) (2003). 医学教育プログラム開発 - 6 段階アプローチによる学習と評価の一体化 篠原出版社 東京)

- 10) 中村陽吉 (1983). 対人場面の心理. 東京大学出版会 東京
- 11) 長沼貴美, 他 (2005). 完全主義傾向の異なる母親の育児ストレスに対する受容的サポートの関連について. 日本看護医療学会誌 7 (2) 36-45
- 12) 高木修 (1997). 援助行動の生起過程に関するモデルの提案. 関西大学社会学部紀要 29 (1) 1-21
- 13) 都筑千景, 他 (2002). 産後 1 か月前後の母親に対する看護職による家庭訪問の効果 - 母親の不安と育児に対する捉え方に焦点をあてて -. 日本公衆衛生学会誌 49 (11) 1142-1150
- 14) 渡部月子, 他 (2004). 4 か月児をもつ母親の育児不安を規定する要因に関する研究. 日本地域看護学会誌 6 (2) 47-54

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕 (計 1 件)

- 1) 原田春美, 小西美智子, 寺岡佐和 (2011). 子育て不安の実態と保健師の支援の課題. 人間と科学 11 (1) 53-62 (査読有り)

〔学会発表〕 (計 1 件)

- 1) Harumi Harada, Michiko Konishi, Sawa Teraoka (2011). Desired child-care support for supporter and supportee and the task. The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing, Kobe, Japan

〔図書〕 (計 2 件)

- 1) 原田春美, 小西美智子 (2010). 子育てに関する調査研究報告書 - 子育て支援を受ける側の住民と子育て支援する側の住民のニーズ -. 県立広島大学 総頁数 65 頁
- 2) 原田春美, 小西美智子 (2013). 子育て支援に関するプログラム開発 - 平成 21 年度 ~ 平成 24 年度科学研究費研究報告書. 福岡大学 総頁数 140 頁
〔産業財産権〕 なし

6. 研究組織

- (1) 研究代表者 原田春美 (HRADA HARUMI)
福岡大学・医学部・教授
研究者番号: 70335652
- (2) 研究分担者 小西美智子 (KONISHI MICHIKO)
岐阜県立看護大学・看護学部・教授 (理事長・学長)
研究者番号: 20161961
- (3) 連携研究者 なし